



飛矢崎 雅也さんと語るハンナ・アーレント

今、女性の生き方・ 社会・政治とは？

ハンナ・アーレントをご存じですか。

映画「ハンナ・アーレント」で知られるように、第2次世界大戦中にナチスの強制収容所から脱出し、アメリカへ亡命したドイツ系ユダヤ人の女性です。

1960年代初頭、ナチス戦犯アドルフ・アイヒマンのイスラエルでの歴史的裁判に立ち会い、彼女がアメリカの雑誌に発表したレポートは、世間から激しい非難を浴びます。

しかし、その重圧に思い悩みながらも、アーレントは、「人間は考えることで強くなる」という信念を貫き通し、本当に必要なものは何かと私たちに問いつづけます。

講師 飛矢崎(ひやざき) 雅也さん

参加費 無料 (どなたでも参加できます)

事前申し込みも不要です。当日の各会場の入口には、「言語文化教育研究所」で表示されています。

時間 14:00 ~ 16:00

- 8月 24日 (金) 高根町農村環境改善センター2F会議室
- 8月 31日 (金) 武川町甲斐駒せせらぎ館会議室
- 9月 7日 (金) 長坂町農村環境改善センター大会議室
- 9月 14日 (金) 小淵沢町生涯学習センターこぶちさわ和室
- 9月 28日 (金) 明野総合会館中会議室
- 10月 5日 (金) 白州総合会館談話室
- 10月 19日 (金) 須玉ふれあい館農業研修室

企画

言語文化教育研究所
八ヶ岳アカデミア
<http://gbki.org/>



ハンナ・アーレントについて考えることで、あなた自身の生き方を振りかえりませんか。

今回、近現代思想史の専門家であり、新進気鋭の政治学者である飛矢崎(ひやざき) 雅也さんをお招きし、ハンナ・アーレントの思想、女性としての生き方、そしてその政治参加のあり方についてお話をうかがいます。会場では、参加の方々それぞれのご意見も出していただき、自由な雰囲気でお話し合いを行いたいと思っています。

7つの会場、テーマはすべて同じですが、参加メンバーが異なれば、話し合いの話題もおのずと変わります。どうぞお誘い合わせの上、ご都合のつく複数の会にご参加ください。とくに、この時代、この社会や政治にさまざまな限界を感じている若い世代のみなさんのご参加を期待します。



【講師・飛矢崎(ひやざき) 雅也さんの紹介】 *****

政治学者・政治思想史家、1974年長野県生れ、長野県立長野高校を経て、明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程修了。博士(政治学)、明治大学政治経済学部助教を経て、現在、明治大学ほか講師、著書に『現代に甦る大杉榮—自由の覚醒から生の拡充へ』(東信堂)など。2016年に一家で東京より山梨県北杜市に移住、現在、大泉町在住。北杜市大泉にて「近現代史学習会」を主宰、幕末から現代に至る近現代史を、時間をかけて論じている。

●近現代史学習会 毎月第3木曜日&土曜日 大泉総合会館
資料代 1000円 <https://www.facebook.com/gbki.org/>



お問い合わせ・連絡先 言語文化教育研究所八ヶ岳アカデメイア

〒408-0311 山梨県北杜市白州町花水 278-43 Mail: info@gbki.org 電話: 080-5544-8145 (担当: 細川)

主体としての個人とその「ことばの力」をはぐくむ教育をめざして

言語文化教育研究所 主宰: 細川 英雄

「言語文化教育研究所」は、“個人が主体として生きることのできる、暮らしやすい社会の実現”に寄与することを目的として設立されました。言語文化教育研究所では、どのような社会でも個人が主体として生きていける“ことばの力”をはぐくむ「言語文化教育」を提案し、その普及と発展につとめています。

「言語文化教育」は、一人一人の「考えていること」を明確にしようと働きかけることから始まります。人の「考えていること」は、マニュアルを用意すれば明確になるようなものではなく、具体的な意味のあるコミュニケーション活動の場を通じて明らかになっていくものです。しかし、有意義なコミュニケーション活動の場とは何か、また、そうした場をどうすれば個人に提供することができるのか、その答えは必ずしも自明ではありません。

早稲田大学大学院日本語教育研究科言語文化教育研究室では、これまで「言語文化教育」理論と実践の研究成果を残してきました。その教育研究の方法論と活動の場を、ひろく言語教育に携わるみなさまと共有しともにはぐくむ、いわば、大学と地域・社会を結ぶ“言語文化教育ネットワーク”、その拠点として「言語文化教育研究所」は位置づけられます。